

## 近畿中央呼吸器センターを受診される患者さんへ

当院では院長の許可と倫理審査委員会の審査を受けて下記の研究を実施しており、第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会で公表予定となっています。

### 研究題目

「薬剤師外来において Nivolumab 投与による副腎機能障害を早期発見した1症例」

#### 【研究背景】

当院は呼吸器疾患専門病院であり、肺がんに対する治療として免疫チェックポイント阻害薬（以下 ICI）が汎用されている。ICI は、従来の殺細胞性抗がん剤における副作用とは異なり、ICI 特有の多種多様な自己免疫疾患関連有害事象（以下 irAE）の出現が報告されている。

irAE に対する対策として、多診療科横断的なチーム体制の構築が推奨されている中、当院では院内での多診療科横断的チームの構築は困難である。

今回、薬剤師が外来において Nivolumab による副腎機能障害の早期発見に貢献した症例について報告する。

#### 【研究方法と期間】

対象患者：薬剤師外来において Nivolumab 投与による副腎機能障害を早期発見した1症例

研究期間：2016年12月8日～2019年1月20日

研究方法：電子カルテの診療記録や薬剤管理指導録、検査結果等を後ろ向きに調査する。

研究症例：61歳、女性。非小細胞肺腺がん（cT3N0M1b、Stage IVA、EGFR・ALK・ROS1 遺伝子変異陰性、PD-L1：TPS 0%）の三次治療として Nivolumab 療法を開始した。降圧薬を定期内服されていたが Nivolumab 療法 11kur 目に、血圧低値を認め降圧薬休止。降圧薬を休止するも血圧の低値が継続。ACTH・コルチゾールの検査が Nivolumab 療法施行前から行われておらず、外来担当薬剤師から主治医に検査を依頼し、Nivolumab 療法 13kur 目に ACTH・コルチゾール測定。ACTH・コルチゾールともに基準値を下回っており、全身状態は良好であるも Nivolumab 療法延期となった。その後、他院にて Nivolumab による ACTH 単独欠損症と診断された。

#### 【利用する情報】

電子カルテより、既往歴や副作用の発現状況、処方薬、指導内容などの情報を使用する。

#### 【個人情報の取扱いについて】

患者さんの氏名や住所などの個人を特定できる個人情報は使用しません。

本研究に同意されない患者さんやご不明な点のある患者さんは下記の問い合わせ先にご連絡ください。なお、同意されない場合でも患者さんが診療上不利益を受けることはありません。

**【本研究の問い合わせ先】**

大阪府堺市北区長曾根町 1180 近畿中央呼吸器センター 薬剤部 稲田 顕慶  
電話番号：072-252-3021（代表） FAX：070-250-1477（代表）